

令和 3 年度

学校経営方針



昭島市立田中小学校

校長 土屋正登

働き方改革目標・勤務時間

- ① 毎日 午後6時30分前後に退校しよう！
在校時間10時間45分以内
2時間15分＋8時15分～16時45分。
例7時50分出校～18時35分退
- ② 毎週 水曜日は、定時退勤日です。
- ③ 毎月 残業時間は45時間以下。
- ④ 毎年 15日以上休暇をとろう。

報告・連絡・相談・確認

当たり前のことを当たり前に

ダメなものは、ダメ

コロナ感染症対策の徹底

《目 標》

学習活動（個別と協働）・学校行事の効率化

- 1 学力の向上…ICT環境の活用（個別）協働的な学び
既習事項の活用・定着・家庭学習
授業の充実…学ぶ意義・理解の質・ICT環境の活用
特別支援学級の充実…**自立**をめざして・活動の意味
特別支援教室の充実…**退級**を見定めて・活動の意味
サポート教室の充実…漢字・読み書き・四則計算
- 2 **不登校0**の実現…健全育成、教育相談・特別支援（教育・学級・教室）組織の充実・活用・**合理的配慮**・**保健室の活用**の仕方・一人一人への声かけ
- 3 **体力の向上**…全学年体力合計点 **全国平均以上**
- 4 「あいさつ」の徹底・・・基本的生活習慣、**整理整頓**
- 5 話し合い **耳をかたむけ** 承認し 任せてやらねば人は育たず（子供・職員）
- 6 常に最悪を想定、いじめ、自殺予防・SNSルール
災害時（地震等）の集団行動等への自己判断力、組織行動

令和3年度 学校経営方針

昭島市立田中小学校長 土屋 正 登

はじめに

本校は、「天下出合いの喜び」をあい言葉に、教育活動を進め開校43年目を迎える。

今、教育に何が求められているか。急激に変化する時代の中で、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。(中教審答申 R3.1.26) 答申の中で「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現～が取りまとめられた。

身近な例として、GIGAスクール構想の実現…ICT環境の整備、効果的な指導の実現、指導方法、教材等の柔軟な提供、設定→「指導の個別化」→個に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会の提供→「学習の個別化」ICT環境の有効活用がある。(ICT環境の活用は、目的ではない。)

しかし、「学習の個別化」を進めると「孤立した学び」になりはしないか。そこで、探究的な学習や体験学習を通して他者と協働しながら持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」も重要であるとされている。

本年度も新型コロナウイルス感染症予防対策として緊急事態宣言が発出される可能性もある。三密を避けての教育活動の工夫を継続させる。子供の学習を家庭と連携して、しっかりと保証していくことが学校の大きな課題である。そして、教職員、保護者、地域が一体となって、田中小の教育を共通理解して、今後も歴史と伝統を築いていきたい。

この歴史と伝統を継承することを基本としつつ、今日的な教育課題を踏まえ、創造性と柔軟性のある学校経営を進め、社会に役立ち、生きる力を持って豊かな歩み方ができる人間の育成をめざしたい。

1 学校経営の基本理念

- (1) 教育関係諸法規の精神に則して、東京都教育委員会及び昭島市教育委員会の教育目標を踏まえ、本校の教育目標達成のために、全職員の総力を結集して教育活動を推進する。
- (2) 「令和3年度の教育課程」の完全実施を目指し効率的な教育活動を推進する。
- (3) 教育公務員としての自覚をもち、協働体制を確立し、教育活動を推進する。

2 めざす学校像

- 子供が願いや思いをもって生き生きと学習している学校(知)
- 子供が思いやりの心をもって、明るく活動している学校(徳)
- 子供が健康や安全に気をつけて力一杯運動している学校(体)

3 学校経営の目標

(1) 中・長期的目標

- ① 自己の課題を意識し、「めあてをもたせる、実現への意欲を高める、努力の過程を認める、めあて達成の支援・援助をする」このサイクルの中で、学ぶ楽しさを実感させることのできる日常的な指導の実践。
- ② 学習指導要領への対応・定着
 - ・基礎的・基本的な内容の確実な定着 知識・技能
 - ・授業改善 主体的な学び・対話的な学び・深い学びの実践 ICT環境の有効活用 長話×
 - ・読書活動、調べ学習の推進 教科等横断的な視点 マネージメント
 - ・社会的事象への興味・関心と呼び覚ます学習環境の整備し、諸活動を通して学びに向かう力・思考力・判断力・表現力の強化を図る。
 - ・人権指導計画の充実
 - ・職場体験の継続
- ③ 自然体験活動や福祉体験活動等の豊かな体験の場を設定し、子供の内面に根ざした道徳性の指導の実践
 - ・道徳全体計画、年間計画の充実と道徳時間の改善・充実
 - ・道徳授業地区公開講座の取組の充実
 - ・ごみ減量、残さい等の意識化
 - ・ボランティア活動の推進
 - ・宿泊体験の充実 …出会い
- ④ 様々な運動を体験させその特性にふれた運動技能を身に付けさせ体力向上の実践
 - ・学年や学級、異年齢集団での遊び
 - ・年間を通し、体力の向上を図る。
 - ・食育教育の充実 残さい率2.5%前半

(2) 本年度の目標

田中小学校の子供・保護者・教職員全ての力を結集して学校づくりの推進に努める。

【児童の人間形成】

- ① 確かな学力の定着と豊かな心・健やかな体づくり …認め合い
 - ア 不登校0の実現・健全育成、教育相談・特別支援教育組織の充実活
 - イ 学力の向上・サポート教室の充実・・・取り出し・放課後・休業中 ICT環境の有効活用・ベーシックドリルの更なる活用・かけ算九九の習得 …学び合い
 - ウ 「あいさつ」の徹底…基本的生活習慣、身の回りの整理整頓

【教職員組織】

② 教育目標の具現、達成に向けた使命感あふれる学校づくり…教育愛

エ 話し合い耳をかたむけ承認し任せてやらねば人は育たず（職員、子供）

【家庭・地域との連携】

③ 田中小の教育を共通理解して、家庭・地域の教育力（教育活動支援）を生かした、活力ある学校づくり …高め合い

オ 家庭学習・学校行事・地域行事・芝生の管理・職場体験・地域親子図書館
防災（避難所運営）等を通して学校の活性化を図る。

4 経営の具体策

【児童の人間形成】

（1）学力向上

- ・授業時数を確保し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
- ・学力向上の実態把握に努め、効果的な学習指導を進めるとともに家庭学習をさらに発展させる。
- ・土曜・放課後補習・サマーラボ・サポート教室等の充実した計画の立案
- ・「伝え合い、学び合い、高めあう児童の育成」の実践的な研究を校内研修のテーマとして引き続き取り組む。
- ・音読・漢字・読書・計算等くり返しが必要なものを根気よく取り組ませる読解力、文章表現力、計算力を高めるための個別指導を充実する。
- ・少人数加配・講師とともに学習指導補助員を配置し習熟度別の指導や個別指導の充実を図る。
- ・授業改善推進プランの見直し・教員相互の授業観察を進める。
- ・学校図書館・支援員を活用し、環境を整備し、子供の読書意欲を高める。
- ・学級文庫の充実、調べ学習を推進する。
- ・ICT機器の活用 （個別指導への）GIGAスクール構想の実践

（2）健全育成

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・問題行動（万引き、SNS等）やいじめ、自殺・不登校の未然防止の早期発見と即時対応に努める。
- ・「学校のきまり」をいつでも、どこでも、だれもが遵守し、子供の活動・変容を見取る。特にあいさつと言葉遣いの習慣化と態度化。
- ・楽しい学校、喜びと生き甲斐に満ちた学校の実現のために日々明るく公平な態度で接し、その子供の努力やよさを作り出し、見出し、生かす指導に努める。
一日一回は子供への「目かけ・声かけ」の実践。
- ・食育の指導場面の設定
- ・運動の楽しさや喜びを味わう子供の育成に向け教科体育や健康に関する適切な指導に努める。（教材・場づくり・スポーツテスト・適切な課題と個人記録の工夫等）

(3) 安全・安心

- ・来校者の記名・名札の着用の徹底 防犯カメラの活用
- ・ピーポ君の家の確認、安全マップの作成・活用、セーフティー教室の充実
- ・緊急対応体制の確認（地震、ウイルス等） 自分の命は自分で守る

(4) 特別支援教育の充実 主訴・個別指導計画・授業への落とし込み・評価

- ・特別支援教室・学級との連携・指導の意味づけ・退級ありき
- ・実態把握、継続指導、ケース会議の充実、共通理解、個別指導・支援計画
- ・保護者への理解
- ・固定学級「ふたば」と通常学級との意味ある連携 合同学習、交流学习
- ・教育相談活動の推進 ・通常学級担任：「ふたば」「ホッとルーム」の参観を年1回以上…理解、活用 通常学級での特別支援教育

【教職員組織】

- (1) 経営方針の下、分掌した自己の職務について目標・課題・課題解決の方針を明確にし、職務を主体的に推進する。(一人一人の教員の経営参画・OJTの推進)
- (2) 経営方針具現化のために主幹や各主任は適時・適切な「連絡・相談・指導・確認」のほか、「企画・立案・提案・共通理解」を積極的に進める。(主幹、主任職務内容の自覚・組織を生かした職務の推進・ラインの確立)
- (3) 教育公務員としての服務規律の遵守と職務についての愛情と責任、創意工夫が学校づくりにつながるとの使命感をもって日々実践する。(体罰・信用失墜行為の禁止・公簿・公金の管理・守秘義務等)

【家庭・地域との連携】

- (1) 望ましい子供の育成のために、情報の交換・提供・連絡・相談を保護者、地域と随時実施し、個に応じた指導・助言、基本的な生活習慣の定着（SNS東京ルール等）、また、特別支援教育に対する理解と啓発に努める。
- (2) 教育目標の達成を振り返る客観性のある外部評価の工夫・実施によって開かれた学校、教育課程の適切な実施・改善に努める。
- (3) PTA・地域の諸活動に学校が積極的にかかわり、緊密な関係を保ちつつ、信頼関係の一層の向上に努める。(各種行事への参加、相互の要望・要求を受け入れられる関係づくり)

5 年度末のチェックポイント

- (1) 確かな学力の定着（学力づくり）
 - ・児童理解を進め一人一人に成立する学習の工夫をしたか。
 - ・「読み・書き・計算」等の定着のための繰り返し指導を進めたか。
 - ・授業の準備（教材研究）と家庭学習の習慣化を計画的に進めたか。
- (2) 豊かな心の育成（心づくり）
 - ・爽やかなあいさつ、笑顔とぬくもりのある学級・学校づくりを進めたか。
 - ・整理整頓、思いやりと感謝の心を育てたか。
- (3) 健やかな体づくり
 - ・年間を通して、体力向上を推進できたか。
 - ・学年や学級、異年齢集団での遊び活動を進めたか。
 - ・安全教育・疾病治療等、健康管理に努めたか。

田中小学校 特別支援教室 経営方針

(個別指導計画・個別支援計画・昭島市子育てサポートファイルの活用)

巡回教員

- 一 個別支援計画を指導に落とし込む.....児童理解・担任との連携
- 一 短期・中期・長期目標をもつ.....**退級**
- 一 指導内容に根拠をもつ.....専門員…担任との共有
火曜日・それ以外の様子や記録
- 一 支援教室の指導 20% 在籍教室 80%
家庭
指導内容の意図を理解し、日常への活かし方の助言

専門員

- ・ 子供の様子 火曜日、それ以外 記録、補助、見守り
- ・ 準備 出欠情報 教材教具 各種印刷
- ・ 予備軍のリサーチ サポート教室
- ・ 特支コーディネーター・S C・巡回教員・担任等の潤滑剤

担任

- ・ 在籍教室の指導 80% 支援教室 20%
家庭
指導内容の意図を理解し、日常に活かす
- ・ 個別支援計画に応じた指導連携（支援教室・家庭）
- ・ クラス内グルーピングの配慮・工夫
- ・ 専門員の活用